

謹賀新年



兵庫工業会

NEWS

2025年1月1日

発行 / 公益社団法人 兵庫工業会

No.317



輝く2025年に向けて！



新年あけましておめでとうございます。

本年は兵庫工業会の設立40周年にあたる記念の年となります。当会は1985年に県下の関係3団体を母体として設立され、兵庫県を代表する経済団体のひとつとして活動して参りました。今日までの間、阪神・淡路大震災、リーマンショック、新型コロナ禍などに代表される荒波が次々と押し寄せましたが、会員並びに関係各位の多大なるご支援・ご協力のおかげで乗り越えて参りました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、米国大統領選、衆議院選、県知事選など、何かと話題の多い選挙が行われた年でした。政治の持つ影響力は、個人の暮らしや企業の日常活動に直結するだけに、今後の動向に目が離せない状況が続いています。

経済状況に目を移せば、米国や中国市場の不安定さ、不透明さが懸念材料となり、大手企業の業績にも下押し圧力がかかってきています。諸物価の上昇傾向が続くなか、継続的な賃上げが大きな社会的課題となる一方、これらコストアップ要因の価格転嫁は抑制気味との声をよく耳にします。また、従来からの課題であった人材不足は一向に解消していません。このように、ものづくり企業経営者にとって、気の休まることのない一年であったと思います。

今年はどのような年になるのでしょうか？ 干支は乙巳（きのと・み）で「柔軟な姿勢で新しい目標に向かって成長する」という意味があるそうです。強い生命力の象徴と言われるへびのように、激動する経営環境に臆することなく、成長と発展を遂げる明るい年となることを心から願っています。兵庫工業会も会員企業の皆さまに喜んで頂けるよう、しっかりと活動を進めて参ります。

まず、当会のコア事業のひとつである「人材育成」についてですが、足元で多くの研修を実施し、好評を頂いています。研修内容は従来から適宜見直しているものの、今一度、会員の皆さまのニーズにマッチしているかの検証を含めて、全体の再構築に着手したいと考えています。兵庫工業会ならではのプログラムをはじめ、ものづくりの土台を支え、かつ発展が期待できる技術・技能研修や階層別の研修をうまく編成できれば、と考えています。「人材育成委員会」を中心に、広くご意見を伺いながら検討を進めて頂く予定ですので、どうかよろしくお願い致します。

また、従来からのテーマであります「SDGsとDXの推進」に引き続き力を入れて取り組みたいと考えております。SDGsについてですが、ご存じのように最近では、企業の「SDGsへの取り組み姿勢」がいつそう問われるようになってきています。幸い、ものづくり事業はSDGsと親和性が高く、普段取り組んでいる改善活動は、実はSDGsそのものである、というケースが殆どです。SDGsをツールとしてうまく企業発展の役に立てて頂けるよう、活動を推進して参ります。

DXについてですが、デジタル技術導入により労働生産性を高めていく「守りのDX」だけでなく、それらの結果として経営を革新していく「攻めのDX」も含めた活動を展開していきたい、と考えています。

さらに喫緊の課題である人材不足への対応として、ものづくり分野での女性活躍の促進、海外理工系人材の活用、採用企業側の意識改革などを狙った活動を進めて参ります。

もちろん、従来からの活動もしっかりと進めて参ります。当会の強みのひとつである会員相互の交流・つながりの活性化、最新の技術知識の取得、グローバルな企業活動への支援など今まで以上に充実した内容を提供できるよう努めます。

そして会員各位が「自社の経営力強化に役立っている」、「本当に入会してよかった」と感じていただける兵庫工業会を目指して前進いたします。どうか引き続きましてのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、本年が会員各位やご家族の皆さまにとりまして、幸多き一年となりますことを心からお祈りいたします。

公益社団法人 兵庫工業会

会長 宮 脇 新 也

新年のご挨拶



副会長 金井 宏彰 (シン・ものづくり委員会 委員長)

会員企業の皆様、新年あけましておめでとうございます。

世界中で政治・経済ともに不安定ですが、我々の活動は止める訳にはいきません。

本年度、担当のシン・ものづくり委員会では変化に乗り遅れないようにDX化への取り組みを進めており、昨年はDXゼミナール2年目として3社目のトランスフォーメーションに挑戦しました。本年度も引き続き4社目以降の取り組みが進められるように計画中です。

人材不足の課題解決として、女性参画に加え外国人材として日本で働くインド人の経験談を聞くセミナーを開催しました。また、高専・工業高校との繋がりも深めています。本年度も引き続き人材獲得への取り組みを進めます。

3月には「国内技術見学会」として1泊2日でナノテラス・トヨタ自動車・福島原発・福島水素エネルギー研究フィールドなど盛り沢山で興味深い見学会を計画しています。

更に本年は6年振りに海外視察研修も復活の方向で場所や時期を模索しております。

本年度も当委員会へのご参加・ご支援・ご期待をよろしくお願ひ申し上げます。



副会長 神門 登 (会員交流委員会 委員長)

新年明けましておめでとうございます。

2025年の世界経済は、第2次トランプ政権の政策の影響を大きく受けると予測されています。特に対中追加関税が実施されれば、中国経済の低迷や貿易摩擦が深刻化し、貿易コストの増大に繋がるでしょう。一方日本経済は、内需を中心に成長が続き、人手不足対応などを背景に設備投資は拡大し、円安に向かうと予測されています。このような経営環境の大きな変化のなかで、常日頃からの人脈ルートを活かし、情報を入手し、迅速に行動に移すことは、中小企業が最も得意とするところです。

ご存じのように兵庫工業会は、ものづくりに関連した各業界の会員企業と、行政や大学などとの大ネットワークを構築しています。会員交流委員会では、このネットワークを活かし、

良質な情報入手に繋がる特徴ある交流機会を提供しています。また、自社の成長を目指す志を持った経営者が研鑽する場も提供しています。是非ご活用ください。

引き続き会員皆様方のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、皆様のご健勝を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。



副会長 吉井 満隆 (産業振興委員会 委員長)

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

今年は、兵庫県におきましては、阪神・淡路大震災から30年の節目を迎え、春には、大阪・関西万博の開催、神戸空港の国際化が始まるなど大変メモリアルな年であります。また、兵庫工業会も会員の皆様に支えられ40周年を迎える記念すべき年になります。

私が担当する産業振興委員会では、いろいろと節目を迎えるこの記念すべき年に、2040年問題といわれる人手不足課題や2050年のカーボンニュートラルを見据えた環境問題への対応など、製造業が抱える大きな課題に対して「ものづくり企業の創意工夫人材確保サポート事業」や「SDGsを活用して企業活動を活性化させる」ために、「普及から推進」にさらに一歩踏み込んだ活動にすべく取り組んでまいります。

今後とも、会員各社の経営力強化に役立つように積極的な活動を進めてまいりますので、皆様の一層のご協力をお願いいたします。

この一年の皆様のご健勝を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。



副会長 小谷 要 (人材育成委員会 委員長)

新年、あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

今年の干支は「乙巳(きのと・み)」で、再生や変化を繰返ししながら柔軟に発展していく年と言われています。

また、経産省が指摘する「2025年の崖」問題の到来です。企業が市場で勝ち抜くためにはDXの推進が必要不可欠であり、DXを推進しなければ業務効率・競争力の低下は避けられません。ビジネスモデルの変化、生活スタイルの変化や働き方に対応するために、企業はDXを推進しつつ、生産性の向上や人材不足の課題に向き合う必要があります。この様な環境変化の中でDXやSDGsに取組み、会社の課題を克服し発展させて行かなければなりません。

人材育成委員会は、会員企業様と一緒に様々な課題の壁を乗り越えて行くために連携を密にし、全力で取り組んで参りますのでよろしくお願いいたします。

躍動する兵庫へ さらなる挑戦



新年あけましておめでとうございます。

県民の皆様のご負託をいただき、昨年11月より知事として2期目のスタートを切りました。新たな施策や改革に取り組んだ1期目の挑戦を緩めることなく、兵庫の未来を切り拓いていきます。

第1は、若者が輝く兵庫づくり。教育費の負担軽減や教育環境の充実、不登校対策の強化、不妊治療支援の充実など、若者の不安を解消し、一人ひとりが力を発揮できる環境を整えます。

第2は、誰もが活躍できる兵庫づくり。万博を機に、地場産業や農業、芸術文化など県内各地の活動現場へ国内外から多くの人々を誘うひょうごフィールドパビリオンのほか、次世代産業や有機農業の振興など、多様な活躍の場を広げます。

第3は、安全安心に暮らせる兵庫づくり。阪神・淡路大震災から30年の節目を迎える中、震災の経験と教訓を次の世代につなぐ取組を強化します。特殊詐欺被害対策などの暮らしの安全を守る取組にも力を入れます。

果敢な挑戦で新しい時代をひらく「躍動する兵庫」の実現には、県民の皆様と力を合わせたオール兵庫での取組が欠かせません。どうぞご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

兵庫県知事

齋藤元彦

新年に寄せて



新しい年を迎えるにあたり謹んでご挨拶を申し上げます。

本年1月17日で、阪神・淡路大震災から30年が経過します。神戸は、市民の皆さんが力をあわせて助け合うとともに、国内外のたくさんの方々から温かい支援をいただき、復興を果たしてきました。そしてこの間、大容量送水管の整備や防潮堤の整備・遠隔操作化など、災害に強いまちづくりを着実に進めるとともに、国内外の被災地支援、復興支援に積極的に取り組んできました。

この経験、教訓を次世代に継承し、広く国内外に発信するため、本年1月から12月にかけて震災30年事業を実施し、この1年を未来に向けた年としていきます。

また、春からはいよいよ神戸空港での国際チャーター便の運用が始まります。すでに複数の航空会社から就航計画が発表されており、神戸の陸・海・空の要衝としての機能がさらに強化されます。加えて、大阪・関西万博の機会を捉え、神戸市においても、観光・ビジネス需要の創出を推進し、市内経済のさらなる活性化を図ります。

一方で、日本の人口は2008年をピークに減少しており、神戸市の人口も同じ傾向をたどっています。このような時代において、神戸市がまちづくりに追い求めるのは、未来にわたってこのまちを引き継いでいく「持続可能性」、まさに「SDGs」の価値観です。これからは神戸市は、豊かな自然の活用や保全、都心部の緑化に取り組み、神戸の文化や歴史を大切にしながら、持続可能なまちづくりを進めていきます。

併せて、誰もが安心して産み育てられるよう、妊娠・出産期から学齢期における切れ目のない子育て支援を充実するとともに、次代を担う子どもたちの教育の推進、健康・福祉の増進などに一層取り組んでいきます。

今後も、時代の変化や要請を的確に捉え、未来を見据えたまちづくりに全力で取り組み、「海と山が育むグローバル貢献都市」の実現を確かなものにしていきます。

兵庫工業会の皆様におかれましては、地域の産業を支え、雇用の受け皿として重要な役割を果たしておられることに、深く敬意を表します。これからは皆様と力をあわせ、地域経済の発展を目指してまいりたいと存じますので、引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

末筆ではありますが、本年が皆様にとって、素晴らしい一年となりますことをお祈りいたします。

神戸市長 久元 喜造

年 新 賀 謹

会 副	長 会 長	宮 金 神 吉 小 神 川 安 金 千 阿 比 野 井 伊 大 山 大 岡 吉 陰 加 高 鳥 久 木 佐 々 島 嶋 頃 上 大 小 大 黒 石 平 小 清 眞	脇 井 門 井 谷 戸 井 原 子 田 野 上 福 庫 東 島 村 田 山 古 橋 居 元 木 々 田 安 月 溝 池 前 田 井 松 野 水 下	新 宏 滿 宏 浩 敏 伸 美 智 元 良 孝 武 泰 勝 悦 眞 雅 安 貴 淳 治 直 康 慶 泰	也 彰 登 隆 要 明 論 一 之 二 剛 代 彦 一 要 郎 和 修 聰 三 彦 敬 子 裕 一 樹 郎 史 司 久 樹 文 大 隆 人 忠	理 事	井 井 番 柴 中 酒 瀧 山 上 中 安 松 豊 三 畑 瀬 阿 宮 藤 上 降 友 市 竹 酒 三 松 新 倉 宮 村 下 山 近 吉 福	上 川 所 田 川 井 川 田 村 川 藤 宮 嶋 宅 川 倉 内 嶋 村 矢 藤 田 田 井 津 藤 山 本 脇 元 井 本 藤 田	直 利 啓 秀 松 圭 勝 裕 雅 義 智 里 和 康 純 貴 寿 公 邦 典 千 久 正 信 隆 一 秀 健 博 洋 二 郎 孝	也 潔 行 勲 之 起 平 祐 敏 子 隆 一 富 章 豊 志 哉 伴 子 典 民 雄 洋 高 俊 磨 稔 幸 二 郎 士 城 和 輝 二 郎 孝
専 務 理 事	専 務 理 事				監 事					
理 事	理 事									

変化に挑戦

福伸電機株式会社

本社所在地：〒679-2288 兵庫県神崎郡福崎町福田447-1
TEL：0790-23-0811 / FAX：0790-23-0822
URL：https://felco.co.jp Instagram：fukushin_1957
代表者：代表取締役社長 宮内 健三郎

～価値を創造するFUKUSHIN～

1957（昭和32）年に神崎郡福崎町の地で創業以来、福伸電機は「技術の高度化」をテーマに、新技術の開発と、それらを駆使した高品質の製品の製造に努めてまいりました。お客さまのご要望に真摯に対応し、確かな製品を提供することこそ当社の使命と考え、商品の研究・開発、品質保証体制の確立に至るまで、幅広い取り組みを行っております。

今日では自動車、住宅設備機器、そして航空機器関連の受託製造、また、自社設計開発による高齢者の皆さまの行動範囲を広げる電動カート「ポルカー」、魚養殖の省力化に貢献する「給餌機（きゅうじき）」まで、皆さまの生活を豊かにする商品をお届けし続けております。

電動カート「ポルカー」は、34年間に亘り開発設計、製造販売しており、19機種、累計販売台数は3万台を超える商品となっております。

ご購入いただいたユーザーさまからの声を多数いただいておりますが、満足度は高く、「高齢のため自動車運転免許証を返納し家族の車に乗せてもらっていたが家族には気を使っていた。ポルカーに乗れるようになり、家族に気を使わず自由に外出できる。行く先々で出会いもあり楽しい。」といったうれしいお声もいただいております。人気の理由は性能の良さ、例えばタイヤは直径約32センチと大型で小さな段差などに強く、操作性や走行性、乗り心地が良いところ、また、4輪独立サスペンション装備で安定した走行ができるところかと自負しております。

また、万が一の操作ミスに備えて、業界初の3つのステレオカメラとAIを活用して、人や障害物との衝突や道路外の側溝への転落を防止する運転支援機能で安心安全をユーザーさまへお届けしています。

また、養殖の魚に餌を与える機械（給餌装置）のトップメーカーとして40年以上にわたり養殖事業関係者の皆さまと共に歩んでまいりました。養殖に携わられる漁師の皆さまは、正月、盆も関係なく毎日、魚に餌を与えなくてはなりません。休みが全くなく重労働に困っていらっしやった1人の漁師の方の声をいただいたところからこの給餌機の開発が始まりました。

1993年に発売した自動給餌機「PFXシリーズ」は給餌作業の省力化を実現する商品として圧倒的なご支持をいただいておりますが、さらなる給餌効率の向上と省力化を実現するため、IT技術を活用した新しいサービス「Smart Feeding System」とこれに対応する給餌機「Robofeeder」を提供させていただいております。特徴として、給餌作業や給餌機の操作は、船で海上のイケスまで行かなくてもはなりませんでしたが、陸上や遠隔地からでもリモートで行えます。魚が餌を食べている状況等はカメラで確認することが可能で安心していただけます。また、養殖場の温度などの環境数値と餌を食べた実績が見える化でき、これらの数値変化を把握して、ムダのない高効率の給餌管理が実現できます。さらに、AI機能を付加することにより今まで実現できていなかったブ

り類などの魚種に対し自動給餌を可能にします。加えて、魚の成長状況を管理する機能を追加し、養殖魚の原価管理、資産管理の精度アップ、経営に貢献しています。

商品を通じた社会貢献はもちろんですが、福伸電機では、それ以外にも新しい取り組みに果敢にチャレンジしています。当社の若手社員たちは、SDGsの達成に向けて、多様性の理解のため手話の普及活動に力を入れています。彼らは手話ダンスという新しいジャンルに挑戦しています。手話ダンスとは手話やダンスで歌詞や音楽の世界観を表現するもので、年齢、障がいの有無、ダンス歴などに関係なく誰でも参加できます。

聴覚障害の社員1名を含む、若手社員6名はチームを結成し、地域の小学校や特別支援学校などで手話ダンスを用いたワークショップを開催するなど、地域の子どもたちや保護者に手話を通じたコミュニケーションの重要性を伝える活動を続けています。手話ダンスを通じて、子どもたちは楽しみながら自然に手話を覚え、手話が身近なコミュニケーション手段であることを体感してくれ、それを拡げて行ってくれることでしょうか。この活動は、子どもたちだけでなく、保護者の皆さんや先生方にも好評で「家族で手話を使った会話を始めた。」といううれしい声も寄せられています。

さらに、手話ダンスチームはその活動を地域内にとどめることなく、全国規模の舞台にも挑戦しています。彼らは手話ダンス甲子園全国大会に出場し、感動的なパフォーマンスを披露しました。手話がコミュニケーションツールとしてだけでなく、芸術表現の一つとしても可能性を持つことを全国の皆さんへ向けて発信することができました。ひいては、手話の魅力が多くの人々に伝わり、多様性と包摂性を重視した持続可能な社会の実現に向けてのきっかけとなったと思っています。

このように、福伸電機は商品を通じた社会貢献だけでなく、新たな挑戦を続けながら持続可能な社会づくりに貢献し続けます。皆さまにお役に立てる企業として、これからも日々努力して参ります。今後とも、皆さまよろしくお祈りいたします。



会員交流懇親会 忘年パーティー ご報告

12月6日(金)、恒例の「会員交流懇親会 忘年パーティー」を、135名のご参加をいただいて、神戸ポートピアホテルにて盛大に開催。イベント・懇親会とも大いに盛り上がり、交流・懇親を深めました。

本館地下1階「偕楽」で開催したイベントでは、歩行姿勢を測定し歩行年齢を算出してくれる『歩行計測』、あたためるだけで健康になる温浴治療器やアイマスクを紹介する『悦ちゃん体験』、『パターゴルフ』、ラグビーボールを的に入れる『バスターゲット』を、たくさんの方にお楽しみいただきました。

会場中央では『日本酒とワインのきき酒クイズ』が催され、参加した方たちは、楽しそうにテイスティングをし、回答用紙に記入をされていました。

懇親会は、本館30階のbuffetレストラン「GOCOCU」に会場を移して開催。

宮協会長の開会挨拶の後、今年新たに兵庫工業会に入会された8社のうち、当日参加された6社の代表の皆様にご挨拶をいただきました。

続いて行われた鏡開きでは、宮協会長、金井副会長、神門副会長、吉井副会長、小谷副会長が、お揃いの白い法被を着て、参加者の「せーの、よいしょ」の掛け声にあわせて力強く鏡を開き、神門副会長の乾杯の音頭で宴が始まりました。

しばらくのご歓談の後、『福引き大会』がスタートしました。

今年もおせち料理やカタログギフト、ホテル宿泊券など、会員企業賞25本、会長・副会長賞8本、計33本の豪華景品をご用意、当選者には景品提供企業の代表者および会長・副会長より景品をお渡しいただきました。

福引き大会の途中で、『きき酒』の結果発表も行いました。日本酒部門・ワイン部門とも難易度が高く、全問正解者は日本酒部門の1名だけでした。日本酒部門は全問正解者に加え3問正解者6名に「八重墻 純米 律」が、ワイン部門は4問正解者2名、3問正解者6名に「コロンバ・ピアンカ ヴィテッセ グリッコ オーガニック」が進呈されました。

大いに盛り上がった福引き大会が終わると中締めです。忘年パーティーを所掌する会員交流委員会の番所副委員長のご挨拶と1本締めで、盛況のうちにお開きとなりました。



きき酒の様子



鏡開きの様子



会長賞贈呈

イベントへのご協力や景品のご提供をいただいた会員企業の皆様、当日ご参加いただきました皆様、大変有難うございました。今後も兵庫工業会の活動に積極的にご参加いただきますようお願い申し上げます。忘年パーティーの報告とさせていただきます。残念ながらお越しいただけなかった会員の皆様も、次回はぜひご参加されお楽しみください。

＜景品ご提供＞

- ・株式会社アシックス
- ・阿比野建設株式会社
- ・金井重要工業株式会社
- ・川崎重工業株式会社
- ・グローリー株式会社
- ・株式会社神戸製鋼所
- ・株式会社神戸ポートピアホテル
- ・滝川工業株式会社
- ・ハニー化成株式会社
- ・バンドー化学株式会社
- ・株式会社ホテルオークラ神戸

＜イベントご協力＞

- ・株式会社アシックス
- ・株式会社関西工事
- ・株式会社神戸製鋼所
- ・住友ゴム工業株式会社
- ・メルシャン株式会社
- ・ヤエガキ酒造株式会社

(50音順)

変革へのチャレンジセミナー ご報告

12月18日(水)、公益財団法人 神戸市産業振興財団との共催で「変革へのチャレンジセミナー」を神戸市産業振興センターにて開催しました。

本セミナーは、シン・ものづくり事業の一つ「海外理工系大学卒の人材確保サポート」の一環として、日本全体の労働人口減少、兵庫県の人口流出、兵庫県下の理工系学生数の少なさに対して、海外の優秀な理工系人材をものづくり企業が確保していくことをサポートするものです。

まず、武庫川女子大学 経営学部 経営学科 山下准教授に、経営者・現場・採用担当者でそれぞれコミュニケーションを取った上で、経営戦略と採用活動を連動させ、経営課題に合った人材を確保していくための具体的手法である「業務仕分け」についてご説明いただきました。

次に、インド専門の人材紹介会社2社に、圧倒的な対象人材の数の豊富さ、国際比較上の評価の高い理工系大学の多さ、質の高さなど、インド理工系人材の可能性を語っていただき、最後に「インド理工系エンジニアを実際、雇ってみて！そして来日後を本人が語る」と題して、IT系エンジニアを雇い入れた東日印刷株式会社（東京）、土木工学、機械工学など基礎工学系エンジニアを雇い入れた森松工業株式会社（岐阜）に、経験にもとづいたアドバイスなどをいただきました。

海外理工系人材の可能性をご理解いただくだけに留まらず、受け入れ側の企業にも積極的アプローチ、工夫が必要であることをご認識いただけたセミナーになりました。

また、懇親会では、株式会社中村屋 西日本営業部 鈴木部長より100年前に来日したインド革命へのチャレンジのお話をいただきました。また、「新宿中村屋インドカリー」もご提供いただき、参加者一同舌鼓を打ちながら積極的に交流をされました。



武庫川女子大学
山下准教授ご講演の様子



(株) Willings 町田氏・
Zenken (株) 田中氏 ご講演の様子



東日印刷(株)・森松工業(株)
ご講演の様子



懇親会会場にて(株)中村屋
鈴木氏ご挨拶

ものづくり技術懇話会 ご報告

11月28日(木)、「ものづくり技術懇話会」をMicrosoft AI Co-Innovation Lab Kobe、理化学研究所 計算科学研究センターにて、34名の参加者を迎えて開催しました。

Microsoft AI Co-Innovation Lab Kobeの見学では、最新AI技術の導入事例やラボの活用についての説明に、参加者一同興味津々で聞き入っていました。ここ神戸ラボでは製造業からの依頼案件比率が他国のラボよりも抜きんできて高いそうで、AI技術が日本におけるものづくり現場の効率化、変革に果たす役割の大きさと期待を、改めて感じました。

続いて理化学研究所 計算科学研究センターを訪問。スーパーコンピュータ「富岳」の見学、「富岳-量子コンピュータの連携」の講話を通して、次世代計算技術の可能性への期待が膨らみました。また、計算科学振興財団 (FOCUS)、兵庫県立工業技術センターからは、スーパーコンピュータの活用事例を具体的にご紹介いただき、スーパーコンピュータ利用によって、どんなメリットを享受できるのかなど活用のヒントを得ることができました。

その後、神戸ポートピアホテルにて懇親会を開催。兵庫県産業労働部の團野礼子次長をはじめ県幹部と参加会員企業の皆様が交流を深め、産官学連携の重要性が語られる貴重な時間となりました。

最後に、この度の開催にご協力いただいた関係機関および講演者の皆様に深く感謝申し上げます。



スーパーコンピュータ「富岳」をバックに集合写真

女性会 講演会 ご報告

兵庫工業会女性会では日本、世界の政治、経済から文化、歴史、ファッション、手相などジャンルを問わず、兵庫県内外の様々なところに出向き見学、また専門家の方のご講演等をお聞きすることで女性ならではの目線で見聞を広め、皆で共有しながら楽しく体験し、自社の経営に活かしていけるよう切磋琢磨しております。

今回は11月20日(木)、ホテルモントレ姫路14階にて、真正面に姫路城を見ながらと言いますより姫路城に見守られながら「天守に棲む妖怪～姫路の守り神」と題して播磨学研究所運営委員兼研究員であられる埴岡真弓先生よりご講演をして頂きました。

埴岡先生のお話をお聞きすればするほど、摩訶不思議な姫路城の伝説の世界に引き込まれるといった感覚です。

お話を聞き進んでいきますと姫山と呼ばれる山の上に姫路城が建てられ、姫山には「おさかべ刑部神社」と言われる神社が存在し刑部親王、親王の王女富姫を主祭神として崇められており、姫路城建設に伴って場所を移したという事でした。(現在は天守閣の最上階6階に祀られ伝説と共に語り継がれているそうです。)

古城に棲むといわれる妖怪「長壁」も刑部親王の王女富姫も、播磨を領した池田三左衛門殿が病に伏した時の天守での祈祷の折に出てきた鬼神もすべて同じ神で、姫山、姫路を守っていた神様なのではないかと想像をふくらませることができます。神様に想いを馳せたりできるのも、埴岡先生が淡々と奥深く歴史から紐解きながらお話して下さったからであると実感させられました。姫路城が不戦の城と呼ばれ築城以来一度も大きな戦火に巻き込まれることがなかったのは伝説と呼ばれる様々な妖怪たちのお陰なのだと思います。

途中ふと気が付いた時には摩訶不思議な世界に引き込まれましたが、最後には実はその不思議な世界のお話の中にこそ真実の糸口があるのではないかとさえ思うようになりました。これが、姫路城が姫路城であることの所以であるのだと。

そして姫路城に見守られながら、その先には妖怪おさかべや富姫までもこの講演会の間中ずっと兵庫工業会女性会のことを見守ってくださっていたような気がしてなりません。このような貴重な機会を頂き有難うございました。

(文責：女性会 日本ライニング工業(株) 中川 裕子)



講演会の様子

くすのき会（50歳未満の若手経営者グループ）では毎月1回の例会や分科会等、例会の懇親会も含め活発に活動をいたしております。各例会の活動をご報告していきます。

【9月例会「4会若手経営者 合同交流会」のご報告】

9月例会では、滋賀・あさって塾、ECOM・奈良、白鷹クラブ・京都、くすのき会・兵庫の4会合同交流会を行いました。今年の幹事を滋賀が務め、NHK大河ドラマ「光る君へ」の主人公、紫式部が「源氏物語」を執筆した場所として有名な石山寺を訪問しました。歴史のあるお寺の為、景色、雰囲気ともに圧倒される美しいお寺で大変印象的でした。

その後、琵琶湖ホテルに移動し、石山寺 座主 鷺尾龍華氏による「石山寺の歴史と文化」をテーマとした講演を拝聴しました。四国八十八ヶ所よりも古い西国三十三箇所観音霊場周りがあることなど、分かり易く大変勉強になる内容でした。



石山寺見学の様子（9月例会）

【10月例会「本音を語る、今こそ聞きたい投資環境」の講演」のご報告】

10月例会では、野村証券の東英憲氏（投資情報部 部長）を招き「企業を取り巻く今後の経済環境」をテーマにご講話をいただきました。講話では、国内外の経済情勢や市場動向、そしてそれが企業経営に与える影響について分かりやすく解説していただきました。特に、グローバル経済の変化が日本企業にどのように波及するのか、また地政学リスクや環境規制がもたらす新たな課題と機会について、具体的なデータや事例を交えた説明が大変印象的でした。

さらに、企業が持続的に成長していくための投資の重要性についても触れていただきました。資本市場を活用することで新たな成長機会を捉える戦略や、ESG（環境・社会・ガバナンス）投資の視点を取り入れた企業運営の意義についての提言は、多くの経営者にとって示唆に富む内容でした。また、株式市場や金利動向が今後どのように推移するかの予測と、それに伴うリスクマネジメントの手法についても具体的なアドバイスをいただきました。

質疑応答では、参加者からの活発な質問が寄せられ、講師の方がそれぞれの疑問に的確に回答してくださいました。この機会を通じて、参加者は経済環境の理解を深めるとともに、自社の経営戦略を再考するヒントを得ることができたようです。経営環境が不透明な時代において、専門的な知識と分析を活用する重要性を改めて実感する、有意義な時間となりました。



講演の様子（10月例会）

【11月例会「県外研修」のご報告】

11月例会では、県外研修として沖縄を訪問致しました。1件目の研修先として拓南製鉄㈱を訪問し、工場案内、工場の歴史など分かり易くご説明頂きました。工場案内では、代表幹事会社の滝川工業㈱の設備なども見せていただき、工場の歴史としては、戦時化の米軍、日本軍の戦車などの鉄くずから金属を再生することが企業の始まりとのことで、現在は100%沖縄の鉄くずを再利用するなど、沖縄唯一の製鉄所としての歴史が非常に勉強になりました。2件目の研修先はMRO Japan機体整備場を訪問させて頂きました。いわゆる飛行機の車検場のような工場で様々な大きさの民間機を実際に整備している所を見学でき、またエンジンの仕組み、裏話など大変印象的でした。

2日目は那覇ゴルフ倶楽部でのゴルフ交流会を行いました。くすのき会OBの方も多数ご参加いただき、1日目、2日目ともに現役メンバーとの良き交流となりました。

（文責：くすのき会（株）洲本整備機製作所 番所 祥平）



整備場見学の様子（11月例会）

令和6年度職域における創意工夫者表彰 表彰式

現場の改善活動などに貢献された方々を顕彰する「職域における創意工夫者表彰式」が、12月26日(木)、兵庫県公館にて開催されました。

兵庫県 知事賞80名、兵庫県工業会 会長賞83名の方々が受賞され、厳かな雰囲気の中、賞状と記念品が手渡されました。

受賞者の皆様、おめでとうございます。

兵庫工業会ホームページに会員様の企業広告を掲載できます。



※広告をクリックするとHPへ移行いたします。

◆サイズ：縦：横 = 400px : 580px JPEG形式として
容量 = Max 4MBまで

※アニメーション、ロールオーバー等画像が変化するのはご遠慮願います。
※広告デザイン等につきましては、広告主様で作成をお願い致します。

◆掲載期間・料金：1年 / 20,000円 (税別)

※掲載期間についてはホームページ掲載後1年とします。

◆詳細・お申し込みは右記QRコードまたはHPよりお願いいたします。



お申込
・
問合せ先

公益社団法人 兵庫工業会 事務局 (担当: 川井、宮岸)

〒650-0011 神戸市中央区下山手通 6-3-28 兵庫県中央労働センター3階
TEL : 078-361-5667 FAX : 078-371-4336

会 員 動 向

代表者役職変更

企業名	登録者	新役職名	旧登録者	変更月
(株)トーホー	上村 勝敏	代表取締役会長	代表取締役社長	2024年11月

イベント情報

月 日	事業名・内容	場 所
2月4日(火)	地域交流会(西播磨地区)	(株)IHI相生事業所・(株)三井E&S DU
2月26日(水)	合同委員会	有馬温泉 元湯 古泉閣
3月21日(金)	第3回理事会	ホテル日航姫路
3月25日(火)~ 3月26日(水)	国内技術見学会	3GeV高輝度放射光施設NanoTerasu・トヨタ自動車東日本(株) 宮城大衡工場 福島第一原子力発電所・福島水素エネルギー研究フィールド
5月10日(土)	ゴルフ大会	小野東洋ゴルフ倶楽部
5月30日(金)	第66回通常総会	神戸ポートピアホテル

公式SNSで情報発信中！
ぜひ、フォロー・ご登録ください！

Instagram →



兵庫工業会HP →



ご入会・セミナー・講演会・研修などのお問合せ・お申込みは…



公益社団法人
兵庫工業会

本 部
神戸事務所

〒650-0011 兵庫県神戸市中央区下山手通6丁目3番28号 兵庫県中央労働センター3階
TEL 078(361)5667 / FAX 078(371)4336 / Eメールアドレス mail@hyogo-ia.or.jp
URL http://www.hyogo-ia.or.jp

姫路事務所

〒670-0962 姫路市南駅前町123 じばさんびる 3階
TEL 079(223)8230 / FAX 079(223)8231